# ピリカ遺跡ボランティアだより

【第 11 号】　　発行日　2013年6月17日

## ピリカ旧石器文化館１０周年記念事業のおしらせ

**■10 周年記念ピリカ遺跡まつり**

・と　　き　７月２８日（日）10:00～15:00
・と こ ろ　ピリカ遺跡およびその周辺
・主な内容　能條歩岩見沢教育大教授（元今金町学芸員）による「自然体験プログラム」
記念レプリカづくりほか

**■10 周年記念講演会**

・と　　き　９月７日（土）13:30～15:30（予定）
・と こ ろ　今金町民センター　大ホール
・講　　師　小林達雄教授（国学院大学名誉教授）
長沼　孝課長（北海道教育委員会）

**■10 周年記念特別展**

・期　　間　７月27日（土）～９月８日（日）
・と こ ろ　ピリカ旧石器文化館

**ことし旧石器文化館がオープンして10年目を迎えることを記念し、左記の催しが予定されています。ボランティアの皆さんのご参加、ご協力をよろしくお願いします！**

・・・・・・・・・・・↓　会員エッセー集　↓・・・・・・・・・・・・・

## いいとこ 今金!!

馬　場　博　人

平成 24 年 8 月 19 日。小樽に住む私にとっては、久し振りの今金です。この日はピリカまつりの事前の打合せ、そして午後からのデ・モーレン広場での「今金いいとこ祭り」に参加し、勾玉づくりのお手伝いをすることになっていました。

打ち合せも終り、いいとこ祭りの会場へ。会場ではにぎやかに準備に忙しく、活気がありました。勾玉づくりのテントは会場の奥の方で魚を手づかみする所の近くにありました。

宮本さんほか 3 人のボランティアで準備してお客さんを待ちました。しばらくはお客さんがこないので心配しましたが子どもたちがやってきました。最初は戸惑いながらがんばって作っている子どもや、途中であきらめかけて親やボランティアの人に手伝ってもらう子など楽しい場面が見られます。そして大人もやってきました。そのうちに待ってもらう人も出てきて忙しくなり、私が裏

方に回り準備や片付けの方をやることにしました。
　この日はとても暑い日で、汗ビッショリに。それでも周囲の活気に押されて動き回れました。ただ途中で水分補給にビールを飲めなかったのが残念でした。たくさんの人たちがきて勾玉づくりを楽しんでくれました。祭りも終り、閉店となり片付ける時は軽い疲労を感じるくらいでした。
　いいとこ祭りに他の町から参加したのは私だけでしょうか？この次も機会があれば参加します。帰宅途中、きれいな夕焼けを見ました。もちろんデジカメに収めました。楽しい思い出がまた１ページ増えました。

# 伊達市・北黄金貝塚を訪ねて思うこと

**小田島　輝　志**

　平成 24 年 8 月 26 日（日）、史跡北黄金貝塚のイベントがあり、私にとっては初めて訪れる機会を得た。私にとって「貝塚」と言えば確か中学生時代だったと思うが、歴史の時間に「大森貝塚」と言う名を耳にした記憶がある。学生時代には東京で国電乗車中に「大森」と名の駅に停車したので、この近くに貝塚があるのだな、というわずかな認識が当時はあるに過ぎなかった。

北黄金貝塚にて（2012 年 8 月 26 日）

　今までは「貝塚」の大規模なものは本州にあり、北海道にこれほどのものがあるとは思っていなかったが、前回訪れた八雲町の資料館、函館市の大船遺跡、そして今回の伊達市の北黄金貝塚や洞爺湖町の入江貝塚を訪れ、縄文時代の噴火湾一帯は魚介等を捕獲しながら縄文人が自然の中で豊かに暮らしていたことがその貝塚から想像できた。
　この北黄金貝塚を含め噴火湾一帯と北東北３県の縄文遺跡群は「北の縄文」と表記し、３年後の世界遺産登録を目指しているとのこと。もし登録になれば一般の人々にとっても縄文時代への関心がより深まることになるであろう。また当地の「ピリカ遺跡」にとっても時代的にはより古いものであり、場所的にも「北の縄文」地帯に隣接しており、かつてアメリカの博物館に展示されたこともある日本を代表する旧石器遺跡であり、さらによりその価値を認識してもらえるチャンスでもあると確信する。

北黄金貝塚にて（2012 年 8 月 26 日）

　北黄金貝塚は縄文前期のものであり、ピリカの旧石器時代より１万年以上も新しいものと言える。噴火湾を見下ろす小高い海岸段丘上にあり、国指定史跡は 8.7 万平方メートルを有していると言う。また当地のピリカ遺跡も河岸段丘上にあり、今はダム湖が眼下に望めることから、どちらも海や川に隣接した小高い丘陵の居住環境であり、他の噴火湾沿岸の遺跡場所とも類似している。

貝塚を良くみると貝の種類はよく理解できないが、温暖系のものから寒冷系のものへと推移していると言う。とくにこの貝塚の特徴は「水場遺構」としては国内最古例とされていて、水が居住の第一条件であったことを物語っており現在でも水が流れている。

縄文時代の遺物を見て常に思うことは、ピリカ遺跡との単純な比較であるが、出土品には土器の出現がありその種類と文様の多様さ、狩猟道具の進化とその精巧な作りから旧石器時代の遺物にはない生活様式の大きな変化と多様さを感じることである。

当日のイベントのひとつに「森の工作教室」を開催し、松ぼっくり等を利用し、手軽なアクセサリーの工作を無料で行っていた。彼らは史跡北黄金貝塚公園ボランティアで「縄文スクスク森づくりの会」のメンバーとのこと。活動内容の主なものは縄文時代の樹木を種、苗木から育てながら、縄文時代の生活、文化について考える機会をつくると言うものだそうだ。「縄文の丘」の環境づくりという「ボランティア活動」がある事を学んだ一面でもあった。

森の工作教室のようす

現在、私たちを取り巻く生活環境は不自由のない食料、多様な電化生活、そして車を始めとする多様な交通手段、有り余る程の多様な情報社会の中で一見便利な暮らしをしているのだが、一方現代社会は、経済格差からくる多くの環境の変化による地方・地域や家庭環境間等の歪、近年の異常気象からくる極端な寒暖差や突発的な地域での集中豪雨の発生、又昨年の大震災や原発事故への対応、今後起こりうるとされる太平洋沿岸地帯の大地震に対する自然災害への備え等、このような環境の中で我々は暮らしていかなければならない状況にある。

縄文時代にも大きな自然災害もあったと思うが彼らは狩猟・採集中心の社会にあり、なによりも自然の中に生き、自然を最大限利用しながら生活をし、そして自然に感謝する彼らの当時の生活に想いを馳せることも、時にはあっていいのではないだろうか。

## ピリカ遺跡まつりへのボランティア　そして

**森　田　誠　子**

平成 24 年 9 月 30 日朝、会員 13 名と美利河老人クラブから 2 名様のご協力を頂き、館内に集まる。天候は思わしくなかったものの、どうにか熱気球が飛べるとのことで、ほっと一安心。まずは、雨が降った後だったので、館内が汚れるからと通路にブルーシートをしく。勾玉づくり、火おこし、例年になかった石器づくり（黒曜石）、そして、作った石器ナイフを使った肉を切る体験。炭火で焼いて食べる。肉、肉、ネギ、肉と串に刺す子どもたちがかわいく見えるから不思議！空の下だからだろうか、「カボチャも焼けたよー」の声も流れてくる。

館内から広場を見れば子どもと会員の動きが実に微笑ましい。何でこんなにいきいきと

見えるのだろうか。ボランティアを通して心一つにできる時間を共有することに意義があるからだろうか！

もうすぐ 10 周年。これからも遺跡まつりを盛り上げようと集まった会員一人一人の気持ちを第一に尊重し、楽しく行動して満足感で一日が終えられますことを願い、会員になった目的を更に究めて、長く続けて行きたいと思う。それが町、地域の活性化への一因となるのではと信じたい。

勾玉づくり体験のようす（2012 年 9 月 30 日）

のちに聞いた一言。保管庫で見学するお客さんへ４名で対応。

（会員２名、老人クラブ２名様）

お客さん「そういえば、美利河にＹ.Ｓ.君っていだっけ。どうしているがのうー。」

会　　員「ホレこの人だよ！ありゃなんぼ(齢)なったや。90 に点っこ ２ つ、ついだってば（92 才のこと）」

その後は楽しく楽しく話が弾んだことでしょう。脳生き生き、幸せ感いっぱいの一日だったろうなと思うと、うれしくなって忘れられない一言となった。

## 会員募集中！「ピリカ遺跡ボランティアの会」へのおさそい

私たち今金町民が誇る歴史遺産「ピリカ遺跡」でボランティア活動をしてみませんか？
主な活動は右のとおり。遺跡の案内施設「ピリカ旧石器文化館」を拠点に、それぞれの興味に合わせ楽しく活動しています。
町のＰＲに役立ちたいという方はもちろん、「歴史はどうも苦手」という方も大歓迎です。
まずは、お気軽にピリカ旧石器文化館へおたずねください。
※12 月～３月は休館しています。この期間は教育委員会へおたずねください
（Tel.0137-82-3488）。
※ホームページもご覧ください。ピリカ遺跡で検索！

**～ 主 な 活 動 ～**

**○ピリカ遺跡ＰＲ活動**
宣伝活動、会誌発行、施設の案内などＰＲ全般

**○文化館運営のアシスタント**
勾玉、革細工等ものづくり体験や火おこし体験のお手伝い、「ピリカ遺跡まつり」のイベント運営等

**○視察・研修活動**
町外視察や講習会への参加、発掘調査現場の見学会参加など

**○環境の美化活動**
ピリカ遺跡周辺の花植え・草取り

革のキーホルダーづくり体験
手軽にできて人気です！

ピリカ遺跡ボランティアだより（No. 11）
発　行：ピリカ遺跡ボランティアの会
発行人：丸　山　良　祐
〒049-4333 北海道瀬棚郡今金町字美利河
Tel.0137-83-2477　（ピリカ旧石器文化館内）